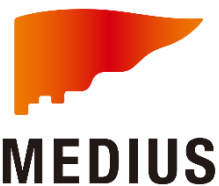


決算説明資料



2024年6月期第2四半期
メディアスホールディングス株式会社

【証券コード：3154】

《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 本日本お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川 浩之

1. 2024年6月期第2四半期 連結決算

《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 本日本日お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川 浩之

1. 2024年6月期第2四半期 連結決算

- 2024年6月期第2四半期は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行したこともあり、医療需要の回復が進みました。一方、本感染症の感染拡大に端を発し、増加している医療機関における感染対策に係るコストは今後も医療機関の経営を圧迫するものであり、政府による感染症対策に係る支援の縮小も見込まれることから、医療経営は厳しさを増していくものと認識しております。
- 世界情勢に起因する資源価格の高騰や、為替変動による物価上昇等の影響に起因するコスト増加が続くことが懸念され、依然として先行きが不透明な状況は続いておりますが、原価削減への取り組みやメーカーや医療機関との価格交渉などにより、利益の確保に努めております。
- メディアスグループはこれからも、医療機器の販売等を通じて地域医療に貢献してまいります。

(百万円、%)

項目	23/6期2Q (実績)	24/6期2Q (実績)		前期比	
	金額	金額	百分比	増減額	比
売上高	118,304	126,713	100.0	8,408	107.1
医療機器販売事業	115,583	123,824	97.7	8,241	107.1
介護・福祉事業	2,720	2,888	2.3	167	106.2
営業利益	1,097	680	0.5	△416	62.0
経常利益	1,342	899	0.7	△442	67.0
四半期純利益	859	505	0.4	△354	58.8
1株あたり四半期 純利益(円)	39.19	23.03	-	-	-

※表示単位以下は切り捨てています。

《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

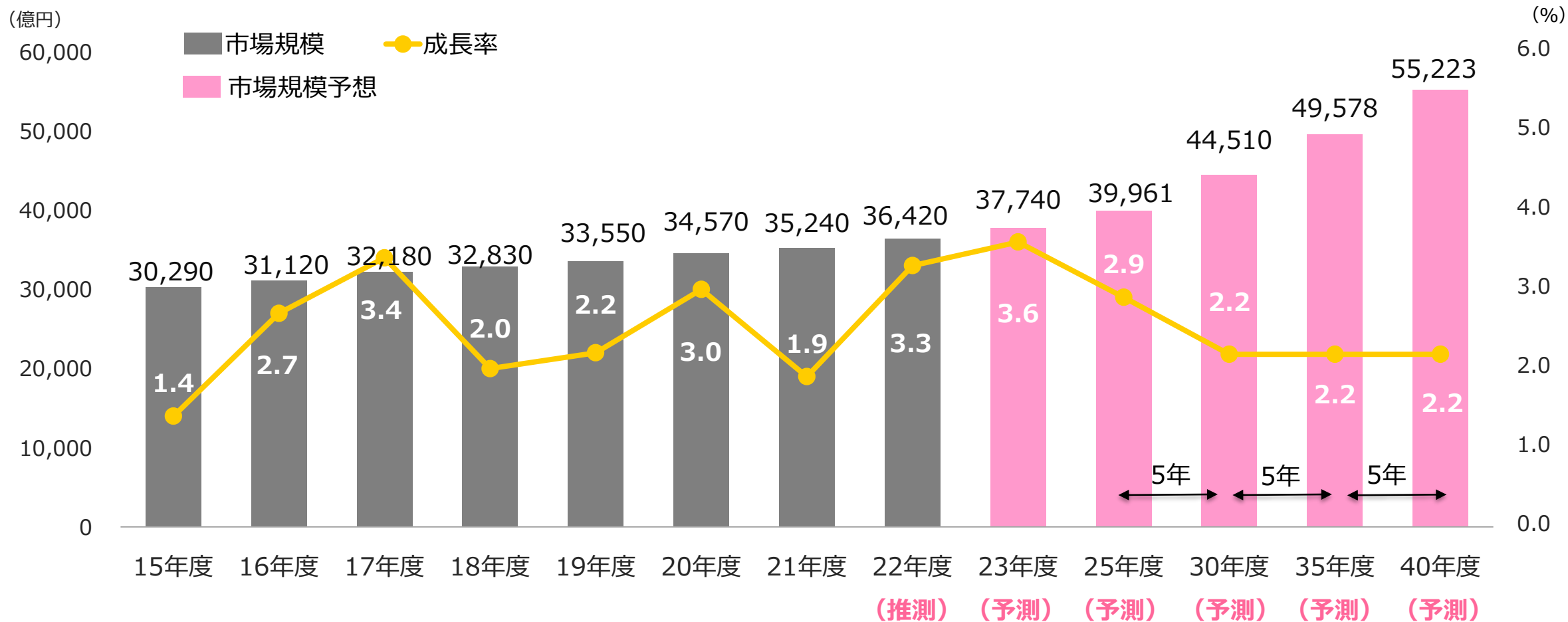
1. 本日本日お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川 浩

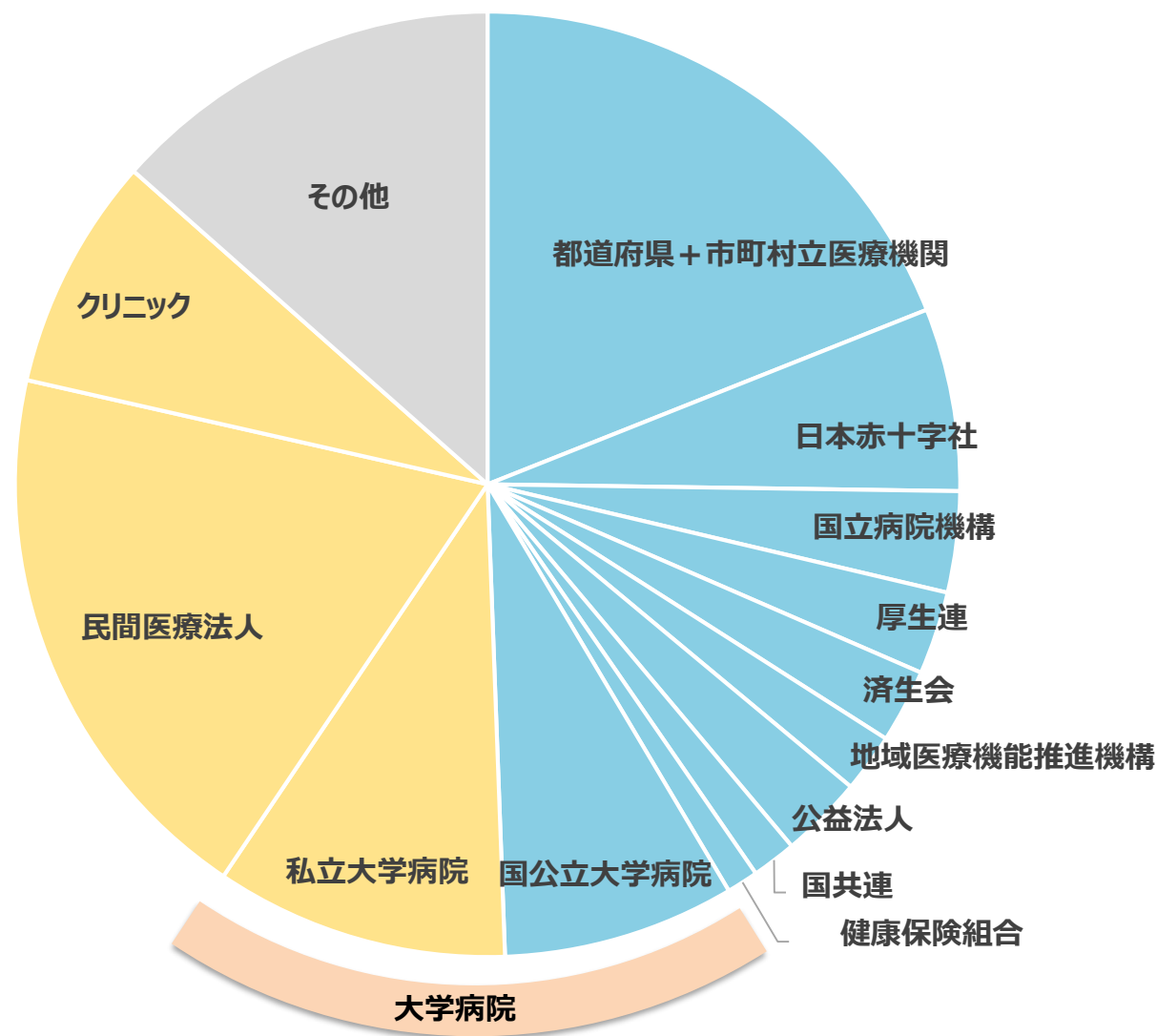
之

1. 2024年6月期第2四半期 連結決算



※出所：2023年（予測）までは(株)オールアンドデイ「医療機器・用品年鑑2023年版 市場分析編」
 2025年以降は公益財団法人医療機器センター附属 MDSI医療機器産業研究所「2025年及び2040年の医療機器市場の推計値から今後の産業を考える」の市場成長率予測より算定。

公的医療機関	都道府県+市町村立医療機関	19.0%	49.4%
	日本赤十字社	6.3%	
	国立病院機構	3.5%	
	厚生連	2.8%	
	済生会	2.5%	
	地域医療機能推進機構	2.0%	
	公益法人	2.8%	
	国共連	1.5%	
	健康保険組合	1.1%	
	国公立大学病院	7.9%	
民間医療機関	私立大学病院	10.0%	37.1%
	民間医療法人	19.1%	
	クリニック	8.0%	
その他	その他	13.5%	13.5%



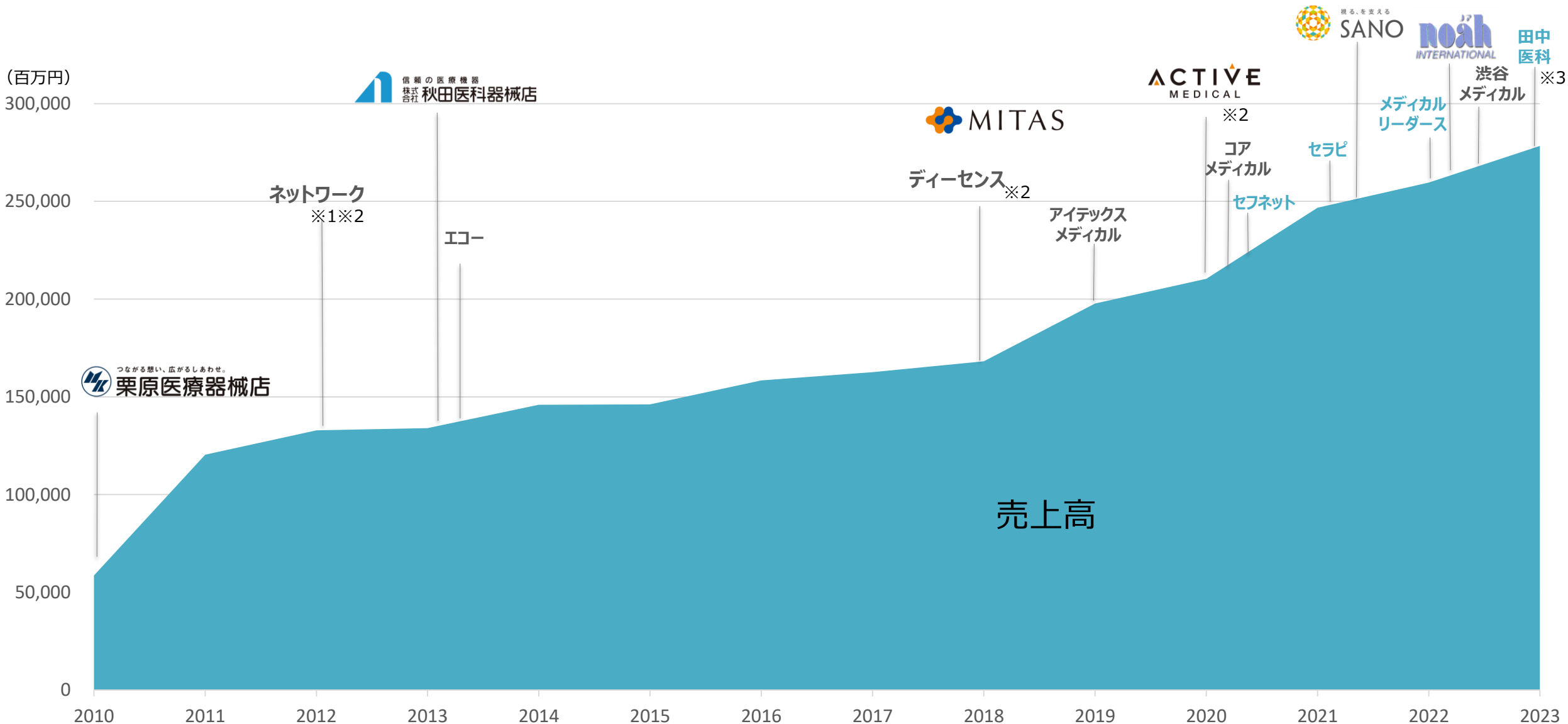
2023年6月末時点
※エンドユーザーベースで集計

日進月歩の医療技術
 ますます先端化する医療機器
 時代の変化に伴い、日々多様化するニーズ



メディアグループの保有する
「M & A力」「ソリューション力」「効率化」
 新たな価値を創造し、医療現場の課題解決に寄与
 医療現場の発展や医療従事者の方々の負担軽減に貢献

メディアスホールディングス これまでのM&A（連結対象）



※社名ロゴにて記載は、連結会社として存在。社名テキストにて記載は、吸収合併、事業承継、事業譲受、営業権譲受した企業。うち青字は一部事業譲受。

※1 イーバスメディカルに社名変更

※2 2021年10月、循環器系の4社（オズ、イーバスメディカル、ディーセンス、アクティブメディカル）を統合し、株式会社アルバースとして事業開始。

※3 2023年7月、栗原医療器械店の整形外科部門を分社化し、株式会社オーソエッジジャパンとして事業開始。株式会社田中医科器械製作所より千葉県における医療機器販売事業を事業譲受。



国内有数の医療環境サプライヤーとしての
揺るぎない覚悟と実績に基づく信頼
それが私たちの強みです

医療機器販売事業

- 株式会社アクティブメディカル
- 株式会社オーソエッジジャパン
- ノアインターナショナル株式会社
- 協和医科器械株式会社
- 株式会社秋田医科器械店
- 株式会社ミタス
- 株式会社栗原医療器械店
- 佐野器械株式会社
- 株式会社アルパース
- 株式会社アルセント

グループ会社数

13



医療機器の修理・保守

- 株式会社つむぐメディカル

ソリューションサービス事業

- メディアスソリューション株式会社

介護福祉機器専門販売事業

- 石川医療器株式会社

※株式会社つむぐメディカル、石川医療器株式会社については、非連結子会社



都道府県別拠点数

北海道	10
秋田県	4
群馬県	14
栃木県	2
茨城県	5
千葉県	7
埼玉県	11
東京都	23
神奈川県	4
山梨県	1
長野県	1
新潟県	2
静岡県	12
愛知県	7
岐阜県	1
富山県	1
石川県	3
福井県	5
大阪府	3
京都府	1
兵庫県	2

※栗原医療器械店からのオーソエッジジャパン分社化による拠点数の増加を含む。

2023年12月現在

各種ソリューションツールで 良質な医療環境の提供

SPD

[物流管理システム]



物流管理 分析 経営改善
収支改善

- 医療材料の管理の効率化をして、看護時間を確保したい。
- 医療材料の発注ミスを防ぎたい。

STORE

[簡易物流管理システム]



物流管理 分析

- 手間を掛けずに医療材料の管理をしたい。
- 簡易的な物流管理システムを入れたい。

meccul

[材料価格の最適化支援システム]



分析 経営改善
収支改善

- 最適な医療材料を選びたい。
- 医療材料の購買内容や変化を客観的に分析し、コスト削減をしたい。

ASOURCE[®]

[DATABASE]

[医療材料データベース]



データ
ベース

- 網羅性・信頼性の高い商品マスタを参照したい。
- 商品情報の収集を効率的に行いたい。

SURGELANE

[手術室運営支援プログラム]



手術室 運営改善
収支改善 分析 医事課

- 手術の稼働内容や収支情報の情報を把握したい。
- 効率的な手術室経営をしたい。

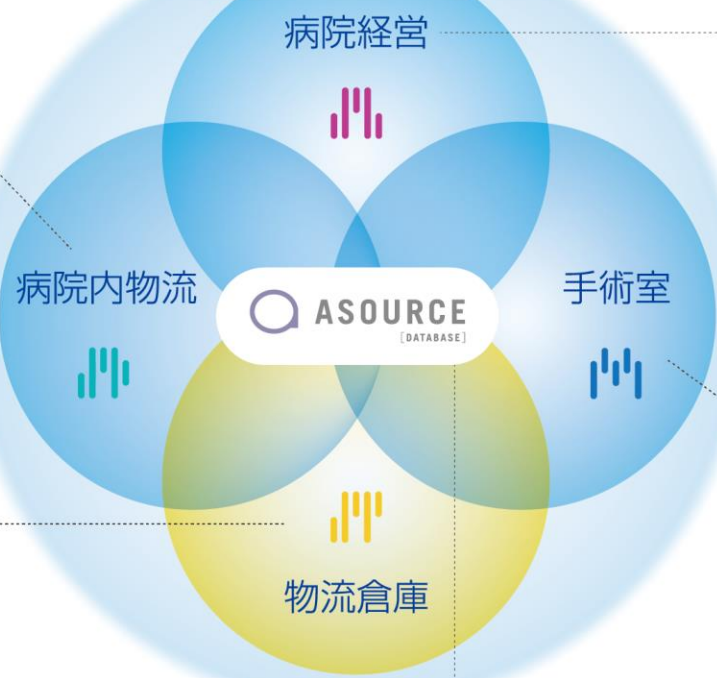
MORISS

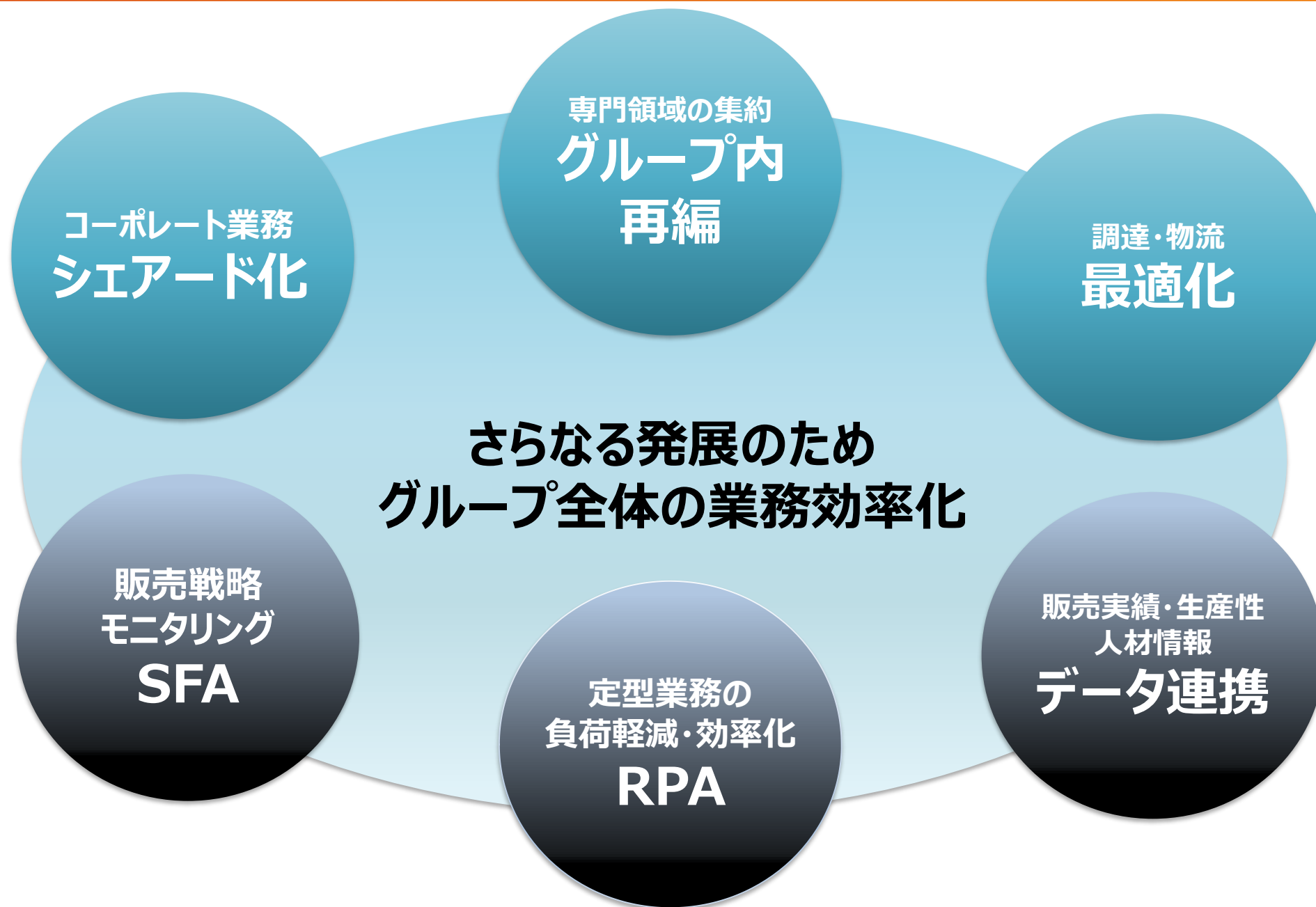
[手術情報共有システム]



手術室 情報共有 医事課

- 手外科手術に関わる医療材料の管理の効率化をして、看護時間を確保したい。
- 手術スタッフで情報共有をしたい。





《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

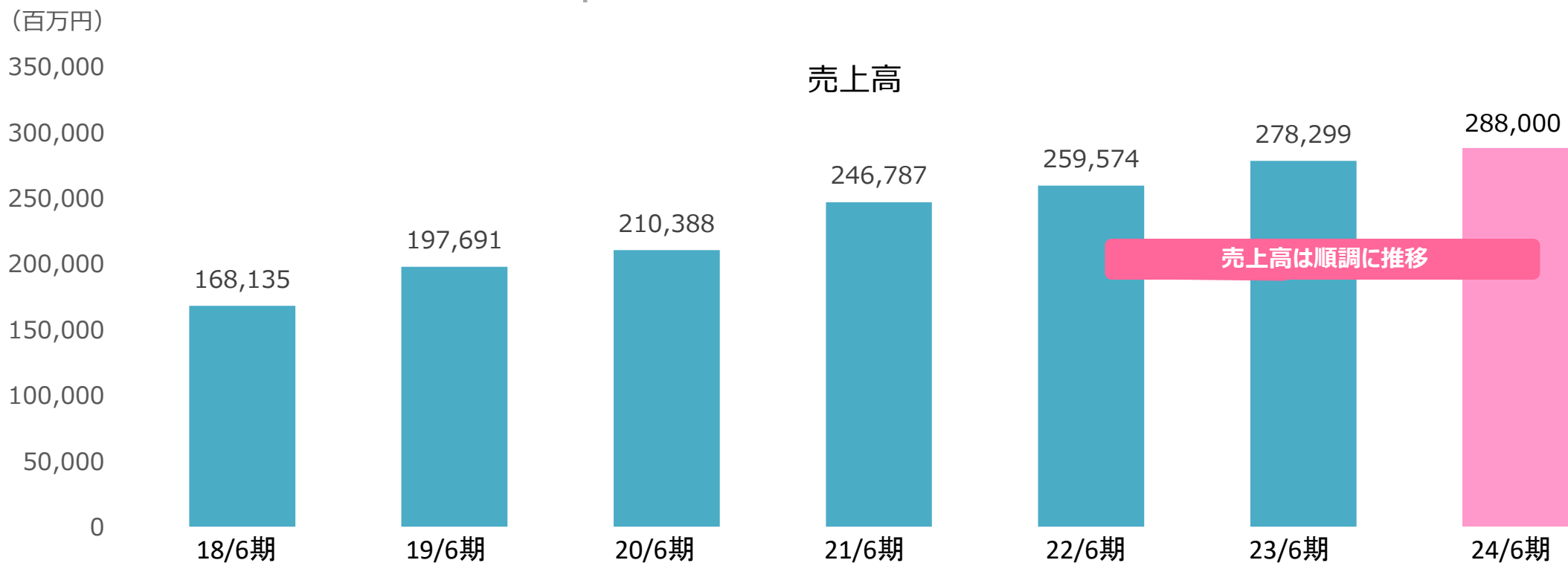
1. 本日本日お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川 浩之

1. 2024年6月期第2四半期 連結決算

	コロナ以前	コロナ禍	ウィズ/ポストコロナ
テーマ	事業規模拡大	安定供給／医療を止めない	事業拡大のための投資
課題	スピードアップ	調達／症例減少	コロナ特需の反動減
対応	M&Aの推進	コロナ関連販売強化／SPD獲得	M&Aの更なる加速



※グラフの数値については、過年度の実績との比較可能性から「収益認識に関する会計基準」適用前の数値で表示しています。

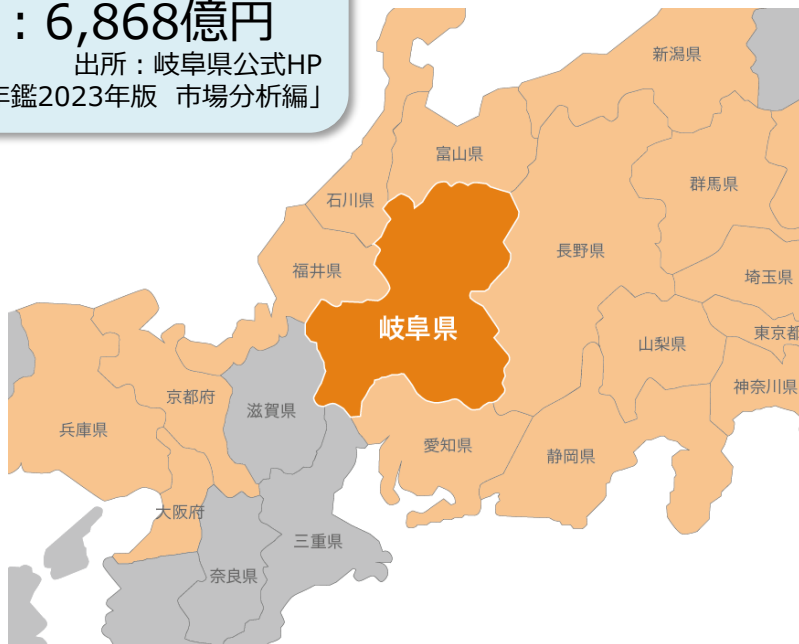
岐阜県にメディアスグループ初の拠点を開設

- ✓ 2023年10月、協和医科器械がメディアスグループ内初となる岐阜県に拠点を開設いたしました。
- ✓ 県内総合病院のSPDがすでに稼働しております。拠点新設を足掛かりに、さらに幅広いエリアの地域医療に貢献いたします。

【岐阜県の医療市場について】

人口 : 約190万人
うち65歳以上の高齢者 : 約30%
医療機器市場規模 : 約467億円
推定医療費 : 6,868億円

出所：岐阜県公式HP
(株)オールアンドディ「医療機器・用品年鑑2023年版 市場分析編」



物流機能強化 ～倉庫管理システム(WMS)導入～

- ✓ 物流効率化、システム化による作業標準化、BCP/リスク管理の向上をコンセプトとして、倉庫管理システム（WMS）導入を推進しております。
- ✓ WMS導入により、基幹システムと物流システムの間で、モノの動きに合わせたデータ連携を実現します。
- ✓ WMSは導入プロセスの最終フェーズであり、首都圏物流センター（神奈川県相模原市）から順次導入予定です。物流分野でもグループ力を発揮していきます。

コンセプト

グループ全体での物流効率化

グループ全体で物流の流れを把握し、スケールメリットを活かした作業工数/コスト削減を目指す。

システム化による作業標準化

属人的判断を減らし「誰でも」「すぐに」できるシステムを導入し、多能工化を促進。品質向上/コスト削減を目指す。

BCP/リスク管理向上

自然災害、システム障害に備えたリスク管理体制の構築。「医療を止めない」を実現するための物流インフラを目指す。

データ連携

基幹システム

発注管理

受注管理

在庫管理
(商流)

請求管理

WMS

入出荷
管理入出荷
計画

KPI管理

マスタ管理

入荷管理

出荷管理

在庫管理
(物流)進捗状況
可視化在庫分析
可視化

棚卸管理

進捗管理

人時生産性
管理

能登半島地震による被害状況

2024年1月1日に発生した能登半島地震において、被災された方々やご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。北陸に拠点を置くグループ会社の株式会社ミタスと石川医療器株式会社における被害状況をご報告いたします。

■従業員

ミタス、石川医療器ともに従業員本人への人的被害なし。

■設備・備品

ミタス、石川医療器ともに建物への大きな被害はなし。

ミタスはPC等の備品が一部破損。

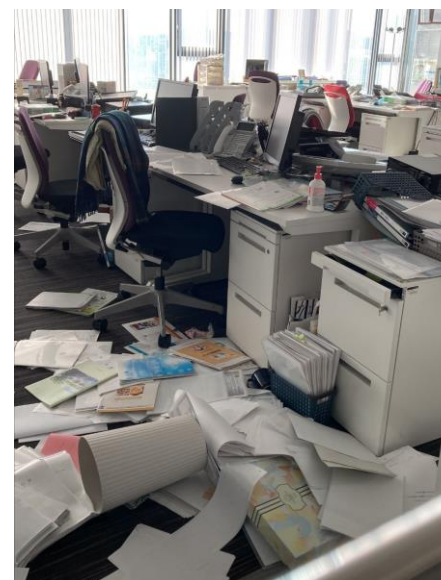
■在庫毀損

ミタス : 約200千円(20品目)の被害あり

石川医療器 : 被害なし

従業員、社屋等に関しては大きな被害はなかったものの、地域の被害が甚大であったため、一部備品案件が先送りになるなどの多少の影響は出ております。

被害の様子



ミタス 金沢支店



ミタス 福井本社SPD倉庫

現場発想・省コスト・安心品質

プライベートブランド「ASOURCE® SELECT」

医療用手袋やサージカルマスクなどの医療材料を中心とした商品展開。商品開発にあたっては、当社の品質基準をクリアした国内外の工場やメーカーと協働しユーザーの声を反映させたコストパフォーマンスの高い商品を追求し、多くの医療機関に採用いただいています。

- ✓ メディアスHD創立当初より商品開発に取り組み、2019年に「ASOURCE® SELECT」として刷新。大量に消費される医療用汎用品を中心に、現在では31品目を展開。
- ✓ 安定供給を使命とし、コロナ感染拡大に伴う医療材料不足の渦中でも、独自の製造ルート確立により一定の供給量を確保。



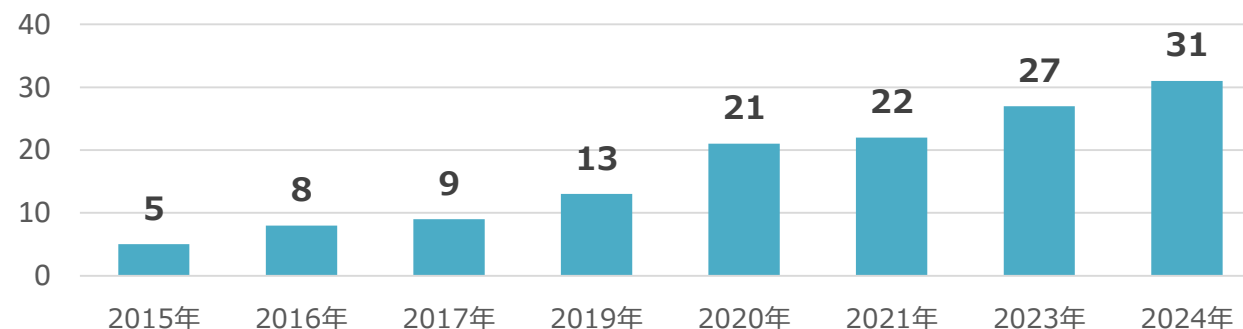
<2023年発売商品>

- ネオフィットサージカルマスクN2
- アソース 伸縮包帯
- アソース スキンマーカー
- ネオフィット検査検診用ニトリルグローブ

<2024年新商品>

- アソース イメージカバー
- アソース コネクティングチューブ
- アソース アルカリ乾電池（単3／単4）

ASOURCE SELECT品目数推移



※2024年2月現在

《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 本日本日お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川 浩之

1. 2024年6月期第二四半期 連結決算

基盤を固める新たなスタート

中期経営計画〈2023年6月期～2025年6月期〉定量目標

項目	目標値
売上高	年成長率5%以上※
経常利益	20億円以上
ROE	8%以上

※M&Aを除く。

医療機器販売業界の圧倒的No. 1 企業となる

売上高

4,000億円を目指して

メディアスグループ

- ・M&A力
- ・ソリューション力
- ・効率化

1,820億円
2020/6期

2,133億円
2021/6期

2,390億円
2023/6期

2,600億円
2025/6期

4,000億円
2030/6期

M & A
戦略

250
億円
100
億円

M & A
戦略

600億円

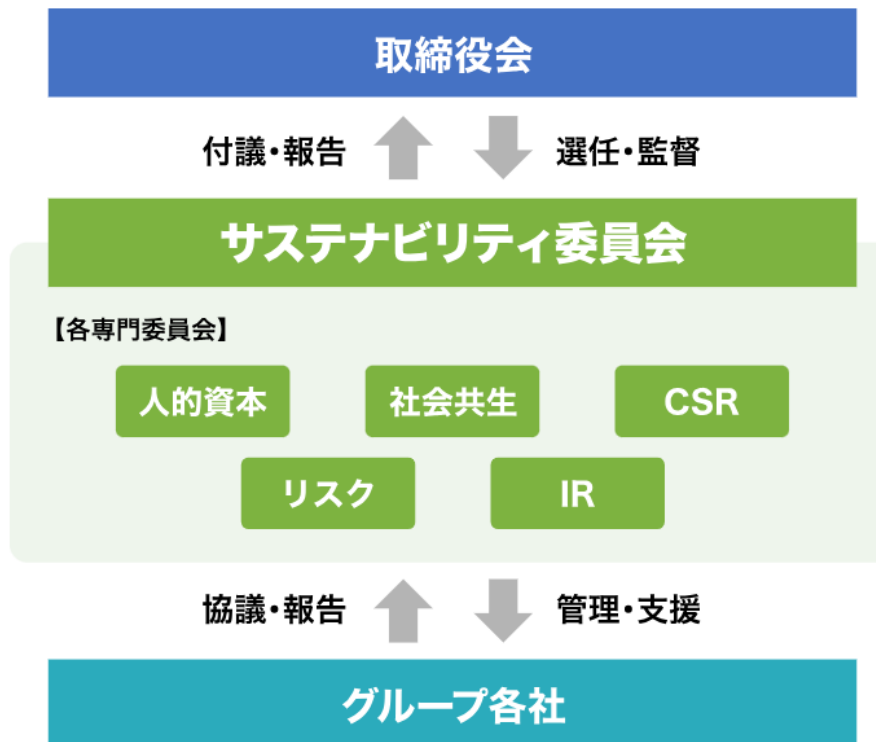
※「収益認識に関する会計基準」の適用による影響を加味した数値です。
 ※2020年6月期は、「収益認識に関する会計基準」による影響を推定した数値です。
 ※M&A戦略のうち、グレー部分（250億円）は、2020年より達成済み。

持続可能な社会の実現と持続的な企業価値の向上

サステナビリティ委員会

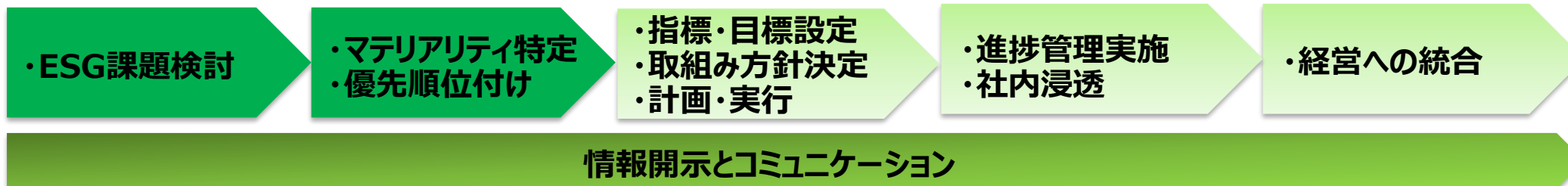
- ✓ サステナビリティへの対応を重要な経営課題の一つと認識し、体制の構築や環境・社会・ガバナンスへの取組みを一層強化することを目的とし、「サステナビリティ委員会」、「各専門委員会」を設置し活動を推進します。
- ✓ サステナビリティ委員会にて、ESG課題検討、マテリアリティ特定を実施しております。

サステナビリティ推進体制



- 【委員長】**
代表取締役社長
- 【実行委員長】**
サステナビリティ担当取締役
- 【各専門委員長】**
委員長が指名
- 【委員】**
取締役(社内及び社外) 役職者
その他委員長が指名した者

2023年6月 サステナビリティ委員会発足



社会貢献活動

国連WFP「レッドカップキャンペーン」寄付

学校給食支援を通じて、学校に通えない子どもたちの栄養状態を改善し、就学の機会をつくり、勉学の意欲を高めて未来につなぐ取組み。賛同する企業が対象商品にレッドカップマークを付けて販売し、売上の一部を寄付するキャンペーン。

- ✓ プライベートブランド「ASOURCE® SELECT」の売上の一部を寄付。
- ✓ 2023年4月より開始し、9か月間（2023年4-12月）で 合計3,543,448円を寄付しました。

ひとりでも多くの子どもたちに学校給食を



「国境なき医師団」へのマッチングギフト

従業員から任意で寄付を募り、会社が同額を上乗せし総額を寄付するマッチングギフトを実施。株主優待の選択肢にも追加し、寄付の意思を表明された株主様への優待相当額に、当社が同額を上乗せして寄付しています。

- ✓ 2023年1月より従業員からの寄付の受付を開始し、1年間（2023年1-12月）で、合計1,733,800円を寄付しました。
- ✓ 2023年度6月末を基準とした株主優待では、社会貢献をお選びになった株主様の寄付額に、会社として同額を上乗せし、合計224,000円を寄付しました。



現在と未来の医療をつなぐ

2023年10月28日（土）、29日（日） メディメッセージ2023開催

協和医科器械・アルバース × メディメッセージ実行委員会（静岡県医師会他）

2007年より静岡県内で開催。医療現場で働く人たちと対話することができ、本物の医療技術に触れることができる機会を提供するイベント。

地域医療の担い手づくりへの貢献を目的とし、手術室を再現して実演する企画のほか、本物の医療機器を使った体験や現役医師のトークライブなどを実施しております。

2023年10月に浜松アクトシティで2日間行われた本イベントにも、親子連れを中心にたくさんの方々にご来場いただきました。



みんなの力を、医療の力に。



《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 本日本日お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川 浩之

1. 2024年6月期第2四半期 連結決算

2024年6月期第2四半期実績

前年同期と比較して医療需要が回復したことで手術室関連製品等の販売が好調に推移いたしました。ウクライナ情勢や円安の影響を受け、売上原価が増加したものの、増収に伴い売上総利益は拡大しております。しかしながら、販売費及び一般管理費の増加により増収減益となりました。

売上高	1,267億円	(前年同期比	7.1%増)
売上総利益	151億円	(前年同期比	5.0%増)
営業利益	6.8億円	(前年同期比	38.0%減)

《消耗品》

- 検査試薬、PPE(個人用防護具)等の新型コロナウイルスに係る製品の販売は減少
- 整形外科領域を中心に手術室関連製品の販売拡大

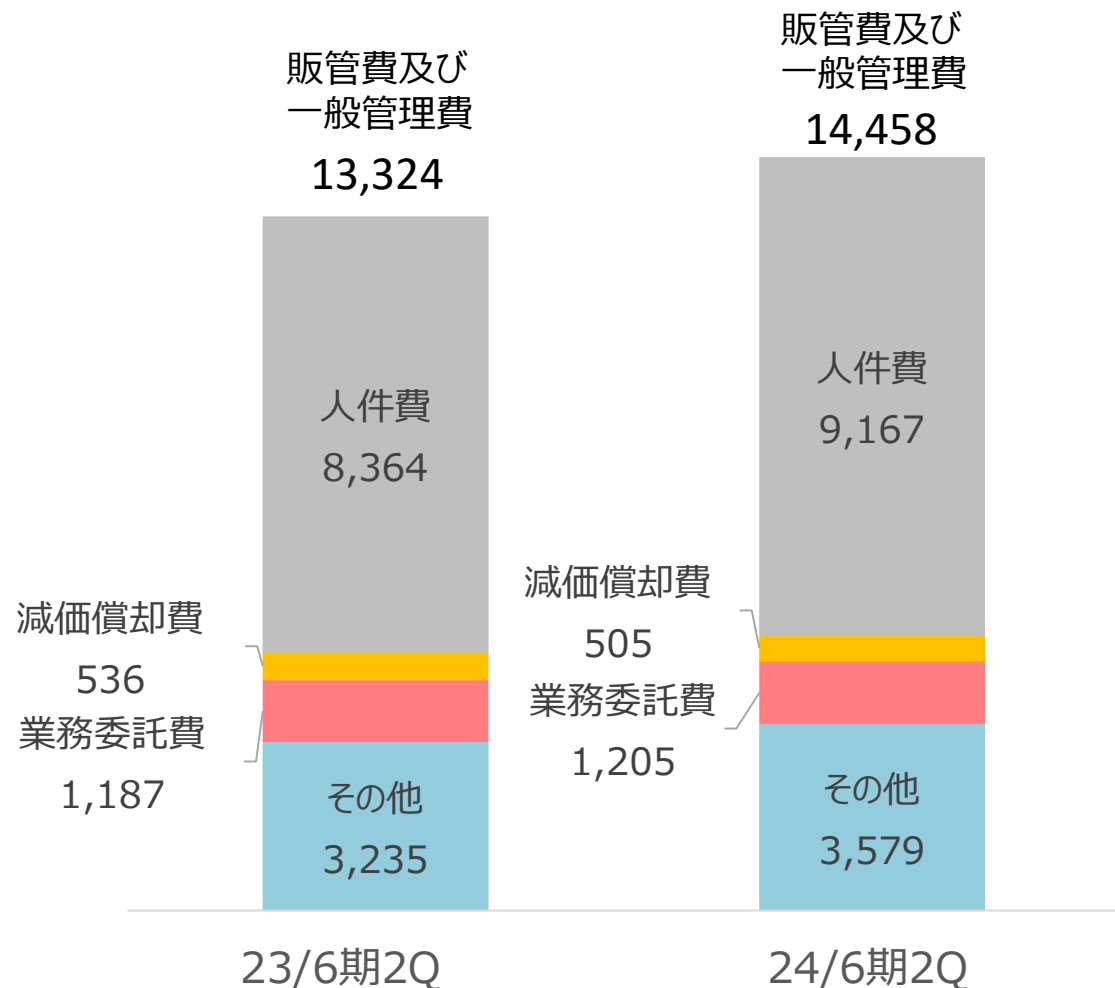
《備品》

- 新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金関連の備品案件販売が減少
- 新築案件に係る備品販売の増加

⇒売上高、売上総利益については、前年同期と比較して増加

販売費及び一般管理費の状況

販売費及び一般管理費 **144億58百万円** (前年同期比 **8.5%増**)
 内) 人件費 **91億67百万円** (前年同期比 **9.6%増**)



人件費

- ✓ 事業規模拡大に伴う人材採用
- ✓ M&Aによる人員増加
- ✓ 一部事業会社においてベースアップ実施

減価償却費

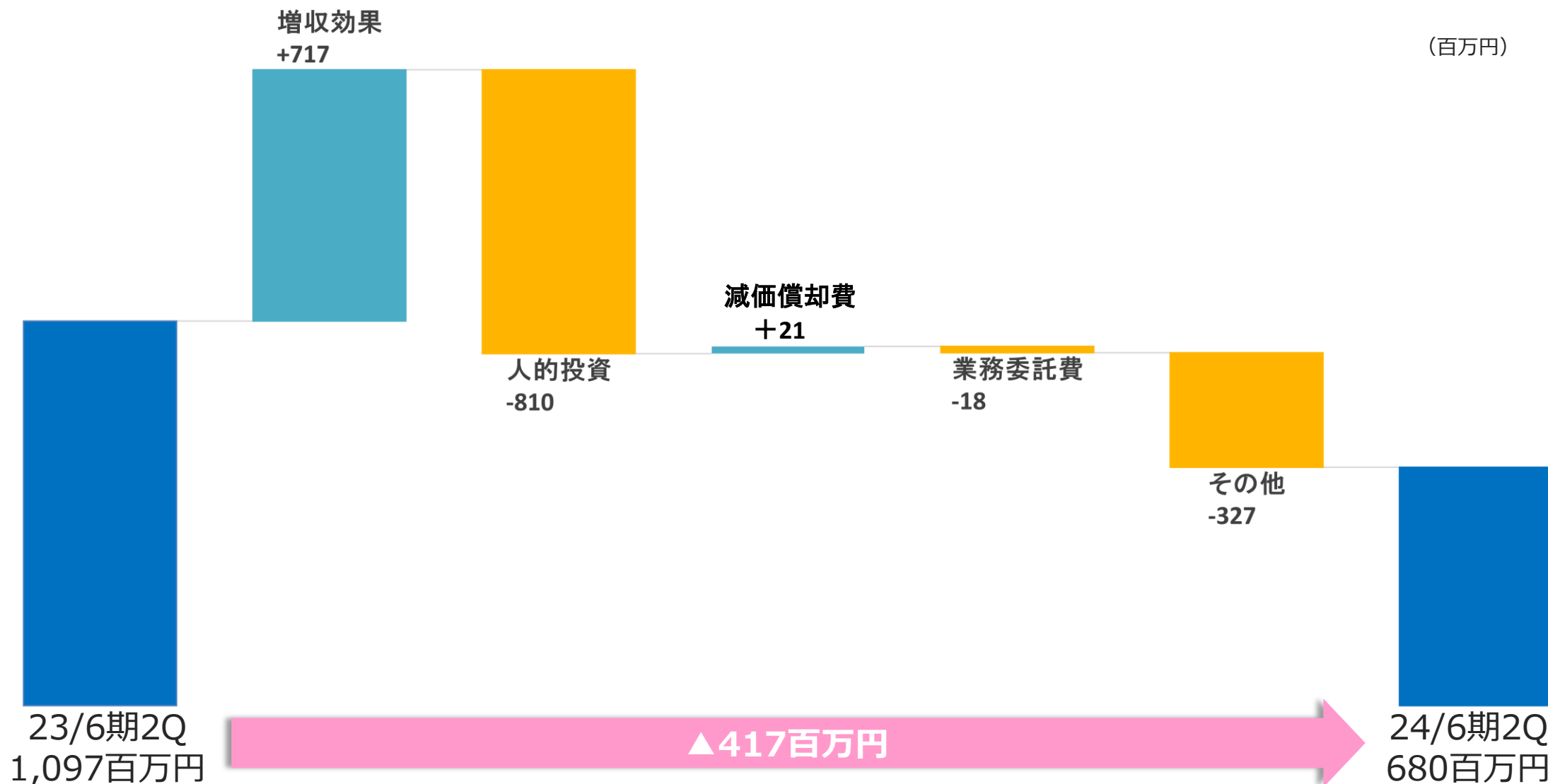
- ✓ 2022年5月より稼働している物流センターに関する減価償却費が縮小

業務委託費

- ✓ 事業規模拡大に伴う物流やSPDの外部委託費用等の増加
- ✓ システム運用支援費用の増加

その他

- ✓ 物流センターに係る固定資産税の増加
- ✓ セキュリティ強化、法令対応によるシステム関連費用の増加



※人的投資の構成：人件費および研修費

(百万円、%)

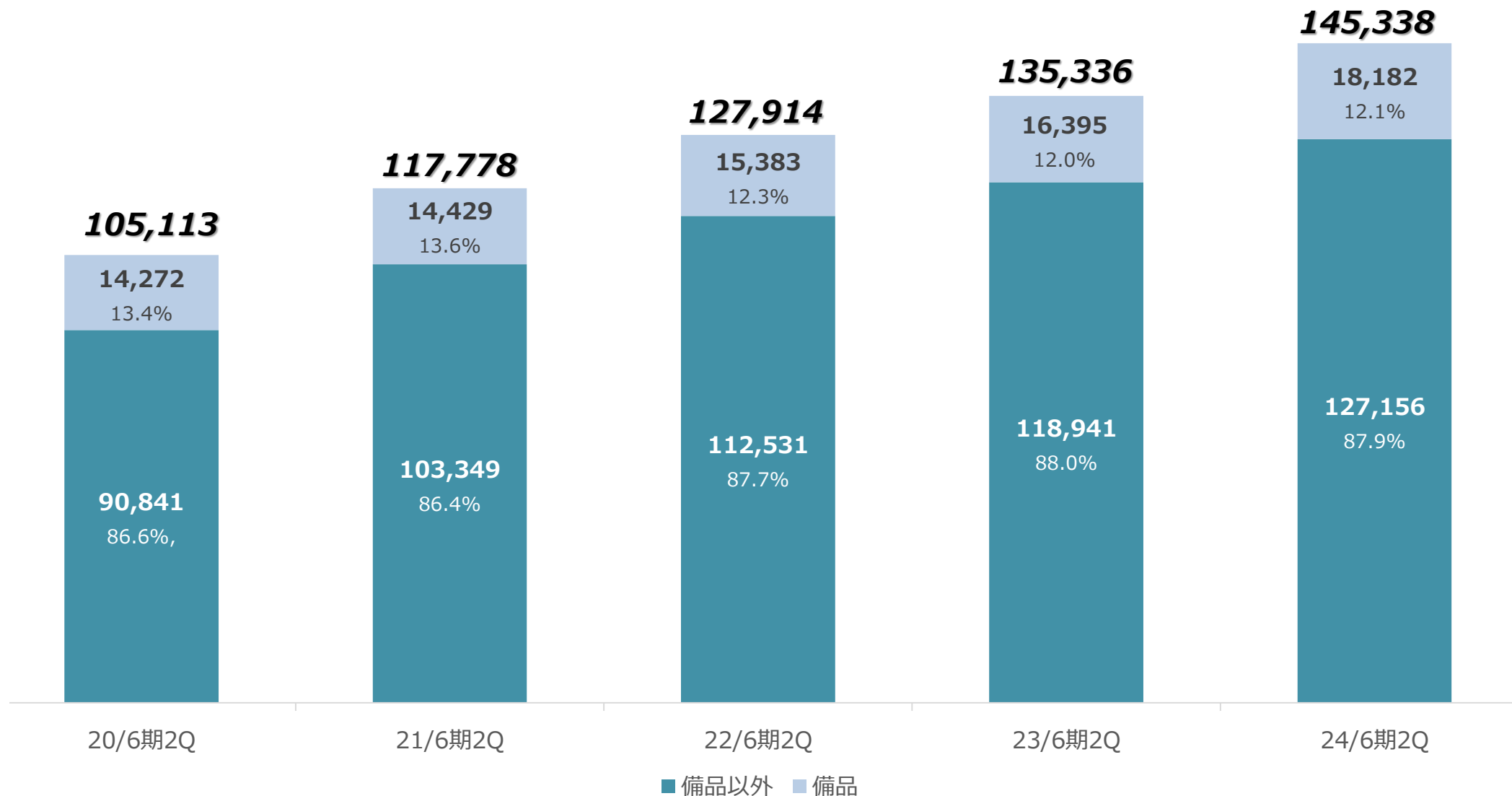
項目	20/6期 2Q	21/6期 2Q	22/6期 2Q	23/6期 2Q	24/6期 2Q	構成比	前年同期比
北海道	-	2830	2,789	3,406	4,526	3.1	132.9↑
秋田県	2,260	1,936	2,140	2,393	2,068	1.4	86.4↓
群馬県	13,425	13,411	14,509	14,888	16,021	11.0	107.6↑
茨城県	5,230	5,370	6,115	7,088	6,797	4.7	95.9↓
埼玉県	15,093	15,903	16,287	17,028	17,483	12.0	102.7↑
千葉県	2,047	2,820	3,251	4,641	6,446	4.4	138.9↑
東京都	13,622	17,555	18,601	20,170	21,600	14.9	107.1↑
神奈川県	12,099	13,520	16,892	15,016	14,916	10.3	99.3↓
静岡県	21,481	22,294	23,105	23,703	28,327	19.5	119.5↑
愛知県	6,803	7,427	7,404	7,962	7,699	5.3	96.7↓
福井県	7,145	8,289	9,054	9,449	9,329	6.4	98.7↓
京都府	-	-	777	1502	1,569	1.1	104.4↑
その他	5,902	6,418	6,983	8,083	8,553	5.9	105.8↑

※売上高は当社グループ拠点所在地別の都道府県です。

※20/6期にアクティブメディカル(現アルバース)がグループ入り。20/6期よりメディアソリューションを連結組み入れ。22/6期に佐野器械がグループ入り。
23/6期にノアインターナショナルがグループ入り、当社の連結子会社であるアルバースがアルセントを新たに設立しグループ入り。

※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用以前の基準にて算出しております。

（単位：百万円）

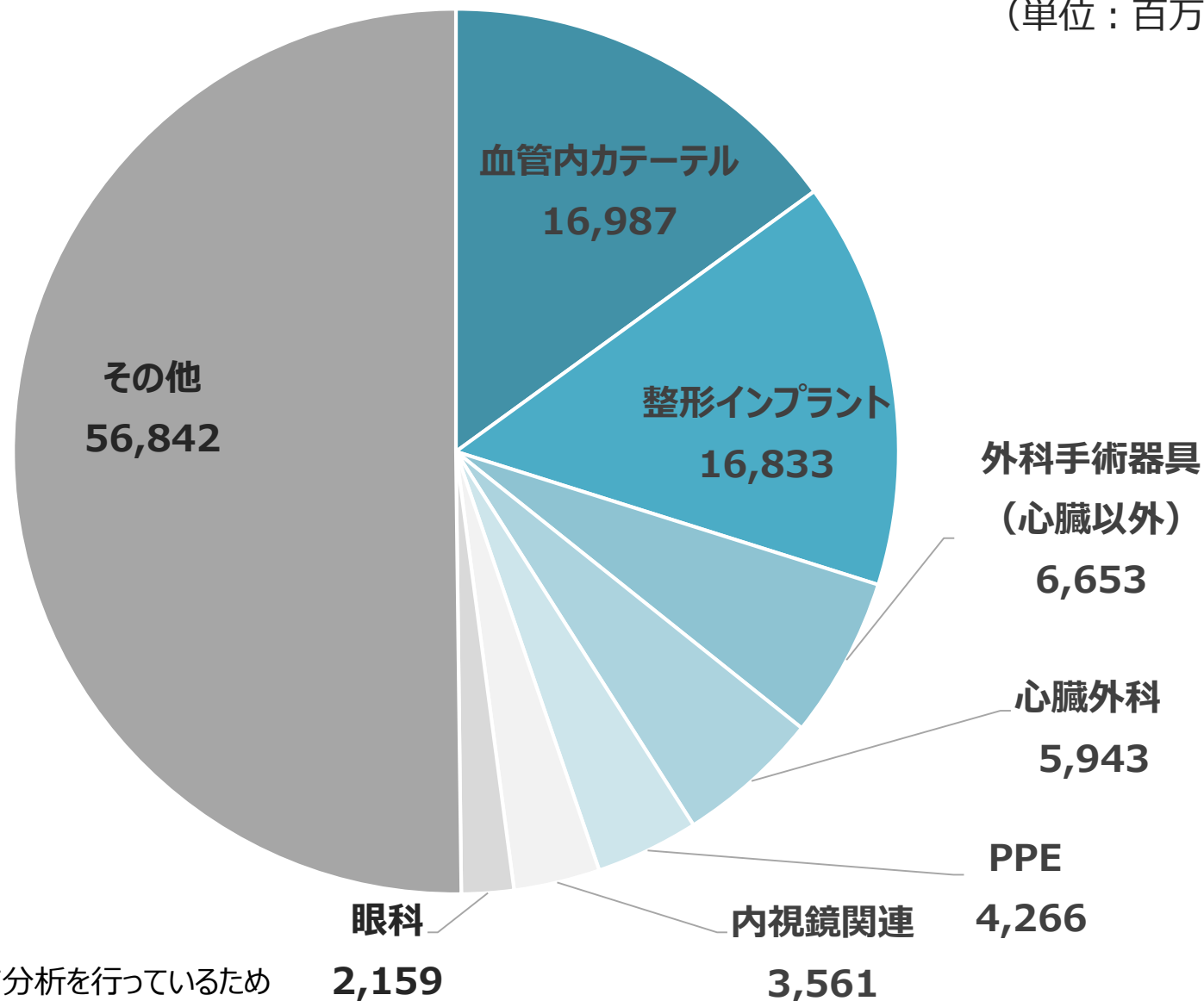


※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用以前の基準にて算出しております。

※備品以外の構成：消耗品、修理費、その他

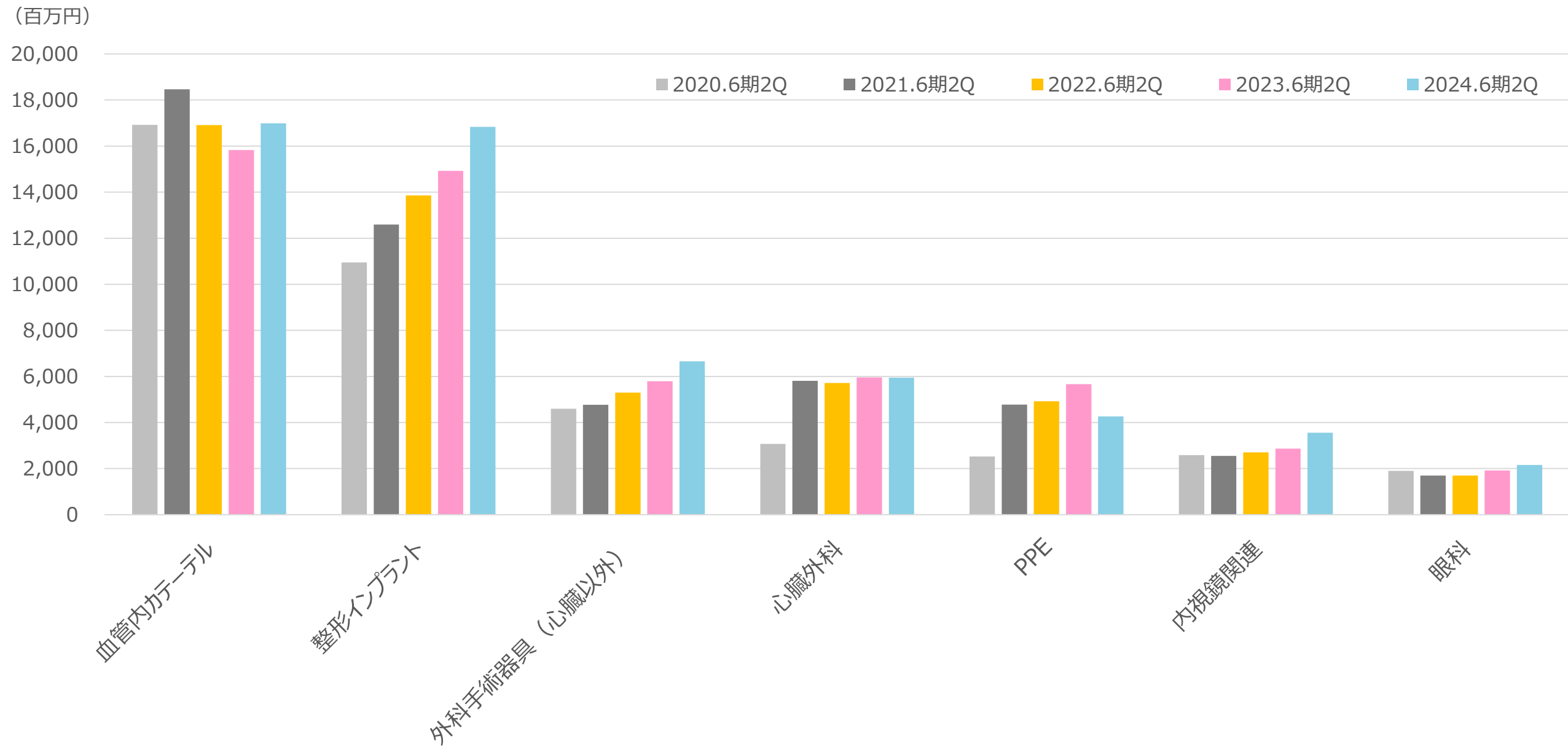
(単位：百万円)

- 血管内カテーテル
- 整形インプラント
- 外科手術器具（心臓以外）
- 心臓外科
- PPE
- 内視鏡関連
- 眼科
- その他
(注射器、包帯、ガーゼ、体温計、輸液など)



※当該商品分類別売上高について、管理会計に基づく集計値にて分析を行っているため合計は医療機器販売事業の売上高と一致しません。

消耗品 分野別売上高推移抜粋（2020年6月期2Q～2024年6月期2Q）

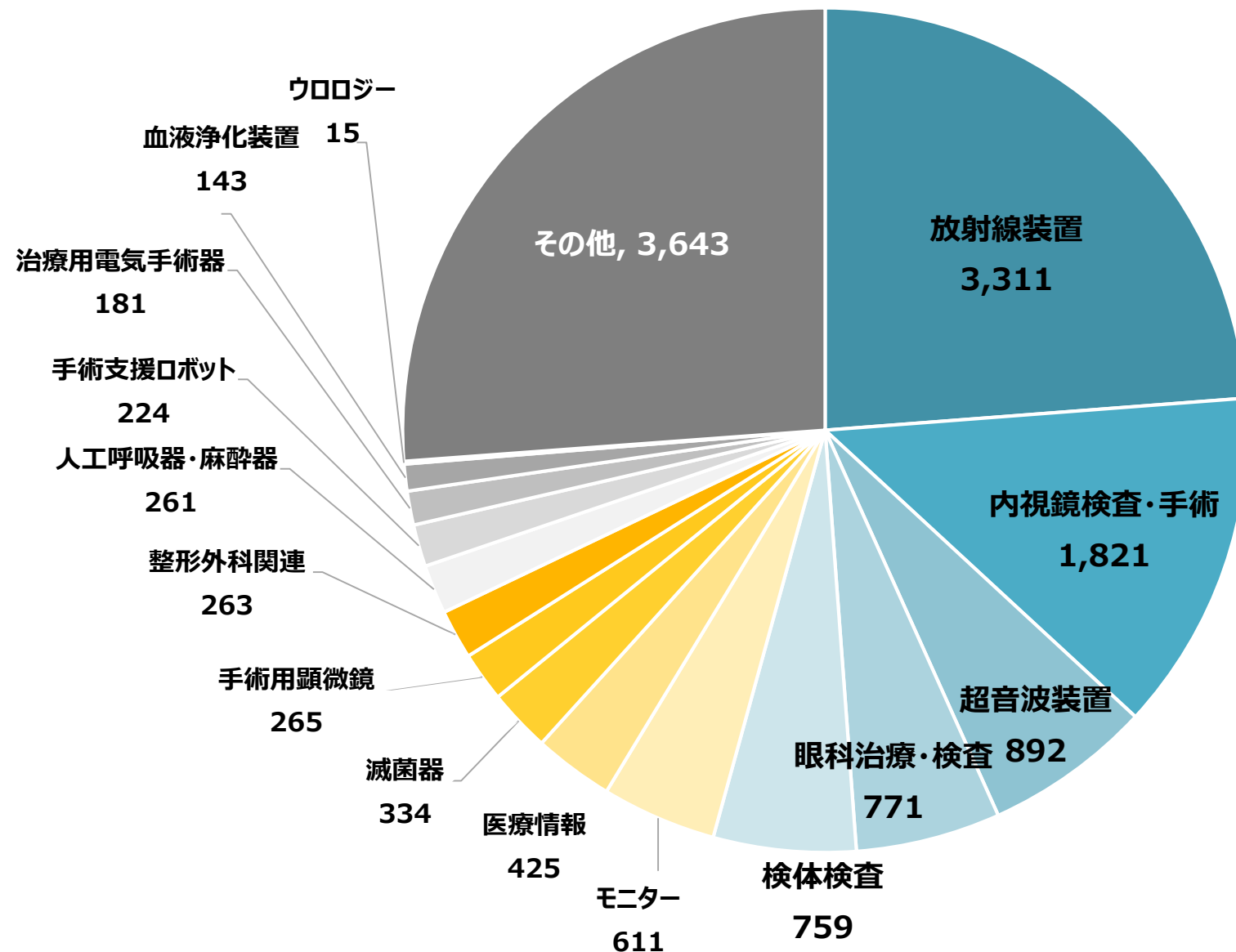


※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用以前の基準にて算出しております。

備品 分野別売上高 (2024年6月期2Q)

(単位：百万円)

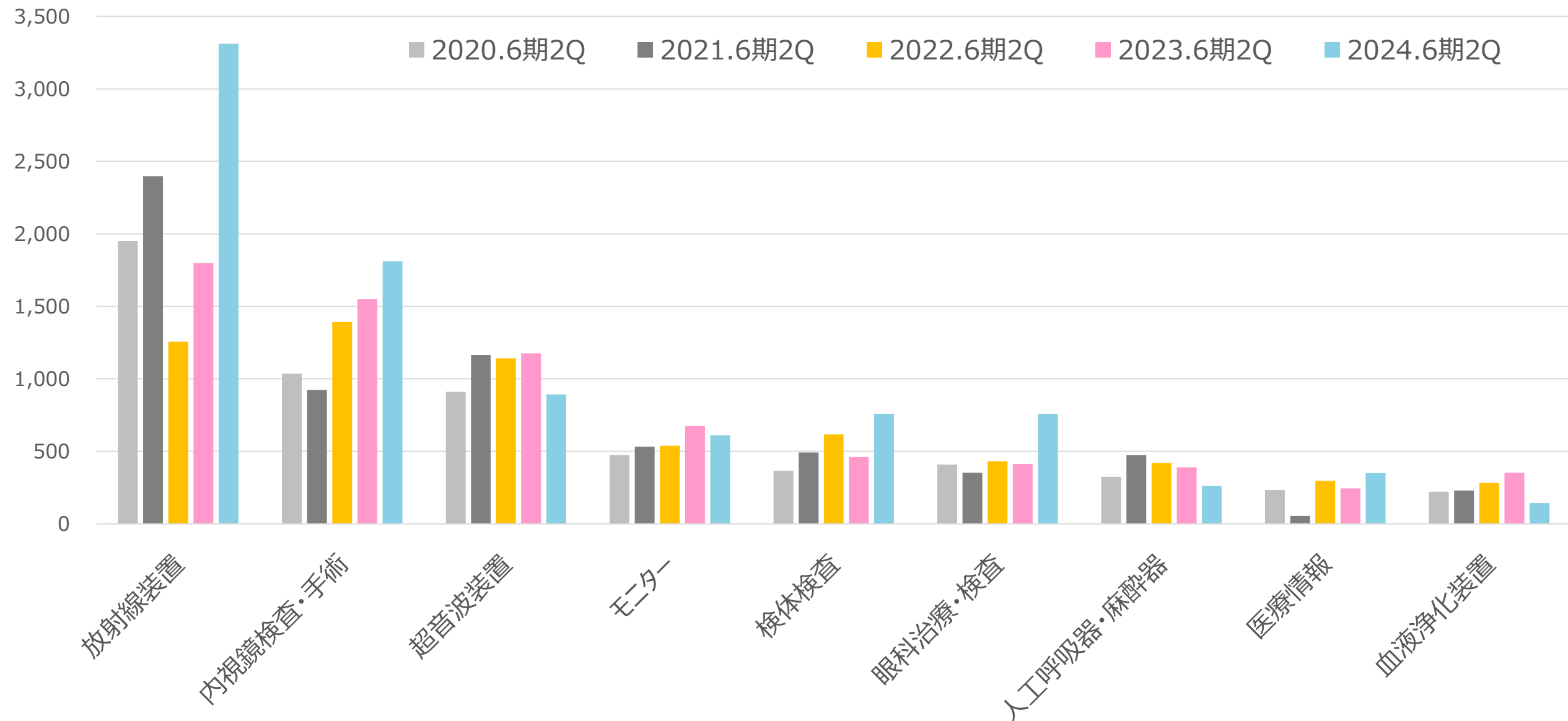
- 放射線装置
- 内視鏡検査・手術
- 超音波装置
- 眼科治療・検査
- 検体検査
- モニター
- 医療情報
- 滅菌器
- 手術用顕微鏡
- 整形外科関連
- 人工呼吸器・麻酔器
- 手術支援ロボット
- 治療用電気手術器
- 血液浄化装置
- ウロロジー
- その他



※当該商品分類別売上高について、管理会計に基づく集計値にて分析を行っているため、合計は医療機器販売事業の売上高と一致しません。

備品 分野別売上高推移抜粋（2020年6月期2Q～2024年6月期2Q）

(百万円)



※数値については、「収益認識に関する会計基準」適用以前の基準にて算出しております。

(百万円、%)

項目	23/6期	24/6期		
	通期	上期 (実績)	通期 (計画)	前期比
売上高	239,054	126,713	248,000	103.7
営業利益	1,880	680	1,000	53.2
経常利益	2,423	899	1,600	66.0
当期純利益	1,498	505	1,000	66.8
売上高営業利益率	0.8	0.5	0.4	-

※期初計画より変更はございません。

2024年6月期 業績見通し

● 売上高、売上総利益

- ✓ ソリューションの展開強化、SPDの新規受託による売上拡大
- ✓ 病院における症例数の回復、整形外科を中心に新規症例の獲得
- ✓ 内視鏡関連製品の販売強化
- ✓ 売上原価は増加を見込むが、営業強化による収益改善で補填することで売上総利益率は前期並みを維持
- ✓ コロナ感染対策製品及びPCR検査試薬の縮小

● 営業利益、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益

- ✓ 主要子会社における事業規模拡大に伴う人材定期採用の継続やベースアップ
- ✓ 営業拠点の移転・開設
- ✓ 倉庫管理システム導入に伴うコスト増加

配当性向

長期に亘る経営基盤の強化と事業拡大に必要な内部留保を確立しつつ、成長に応じた成果の配分を実施することを基本方針としております。

株主の皆様に対する公平な利益還元の観点から、2023年6月期より**30%以上**を目標としております。

	18/6期	19/6期	20/6期	21/6期	22/6期	23/6期	24/6期 (予想)
1株あたりの配当金 (期初予想)	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
1株あたりの配当金	14.0	14.0	14.0	21.0	19.0	22.0	14.0
連結配当性向(%)	36.7	—	32.1	22.1	22.3	32.2	30.7

《第一部》

代表取締役社長 池谷 保彦

1. 本日本お伝えしたいこと
2. 市場環境とメディアスの戦略
3. メディアスホールディングスの概況
4. 中期経営計画とビジョン

《第二部》

取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川 浩之

1. 2024年6月期第2四半期 連結決算

《参考資料》

創業時から変わらぬ想い

地域医療への貢献

事業内容： 医療機器の販売及びメンテナンス事業
介護福祉機器の販売及びレンタル事業

設立

2009年7月

(2010年現社名へ商号変更)

資本金

13.4億円

(2023年12月末現在)

従業員

2,303名

(グループ計 2023年12月末現在)

決算期

6月末

代表者

代表取締役

池谷 保彦

所在地

東京都千代田区有楽町
一丁目2番2号
東宝日比谷ビル

一般個人へのレンタル

介護福祉機器・用具のレンタル、販売

- 介護ベッド／車椅子／シルバーカー
杖／介護衣類／リハビリシューズ
衛生材料・・・



病院・介護施設・一般個人への販売

介護福祉機器・用具の販売

- 介護福祉機器・用具
介護ベッド／車椅子・・・
- ストマ用品



消防署への販売

救命救急機器の販売

- 救急車搭載医療機器
人工呼吸器／除細動器／心電計
生体情報モニター／輸液ポンプ
感染防止衣等
- AED
- ストレッチャー・担架



前期（2022年6月期）期首より「収益認識に関する会計基準」を適用

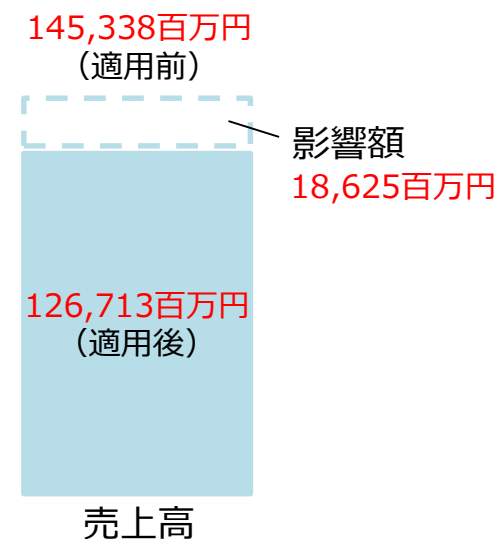
✓ 基準適用による影響

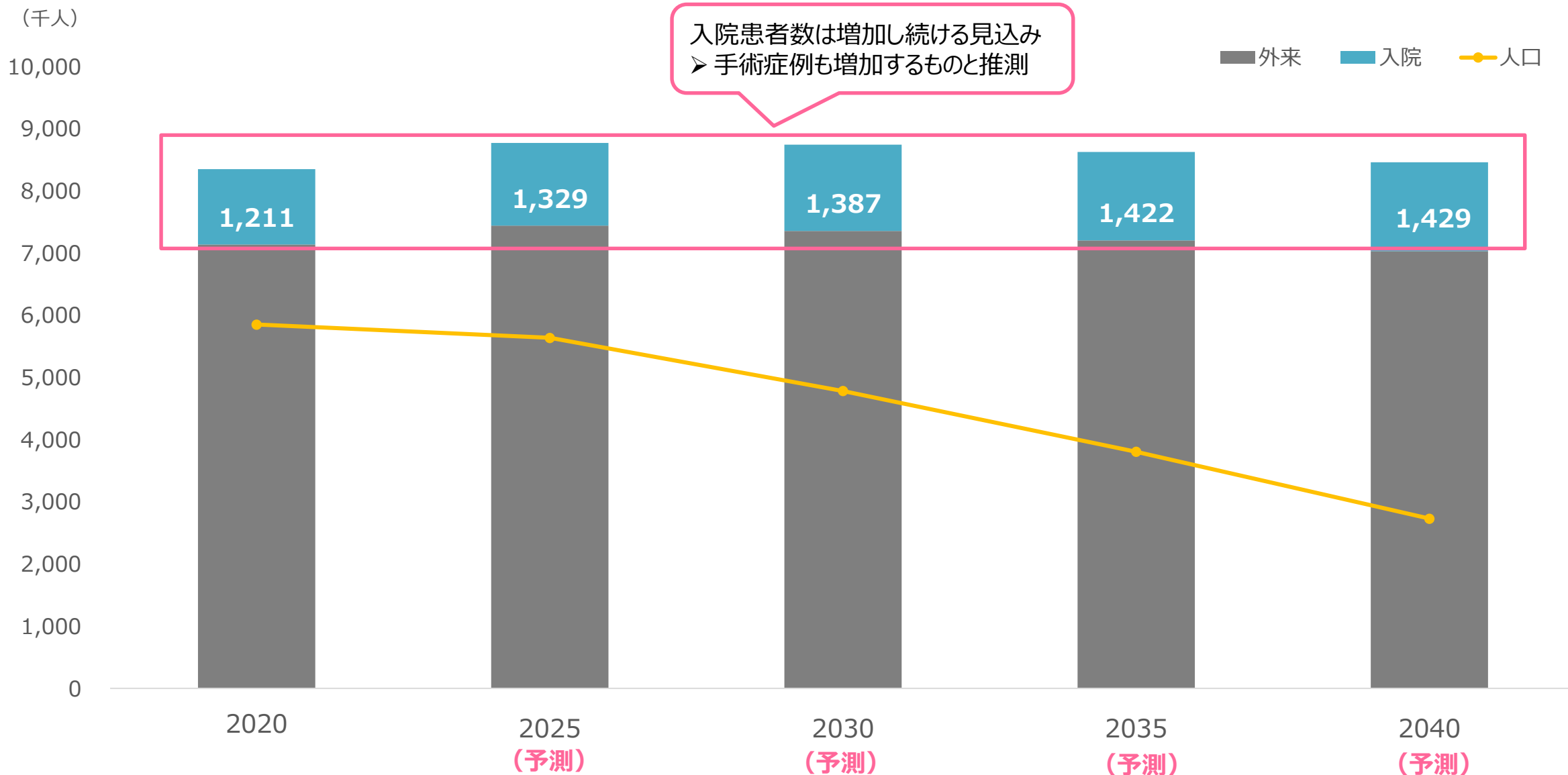
当社グループの役割が代理人に該当する取引について、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することにより売上高が減少。

（当2024年6月期第2四半期において、本基準適用により適用前より売上高が**18,625百万円**減少）
 なお、売上総利益、営業利益、経常利益及び当期純利益への、当該会計基準の適用による影響はなし。

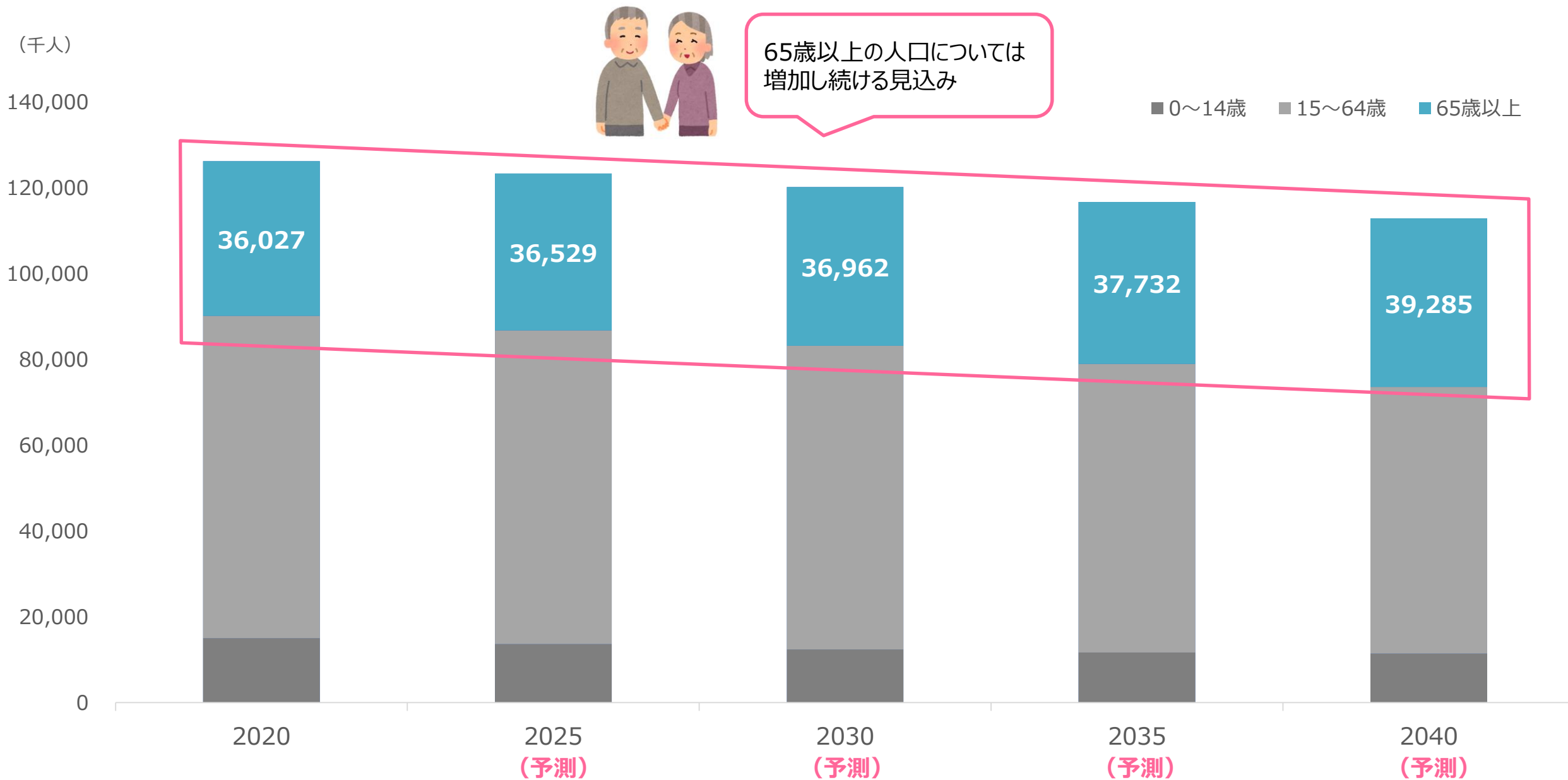
✓ 代理人取引

他販売業者によって商品が顧客に提供されるように、当社グループが手配する等販売活動において主たる責任を負わない取引
 SPD受託施設における請求代行取引等が該当



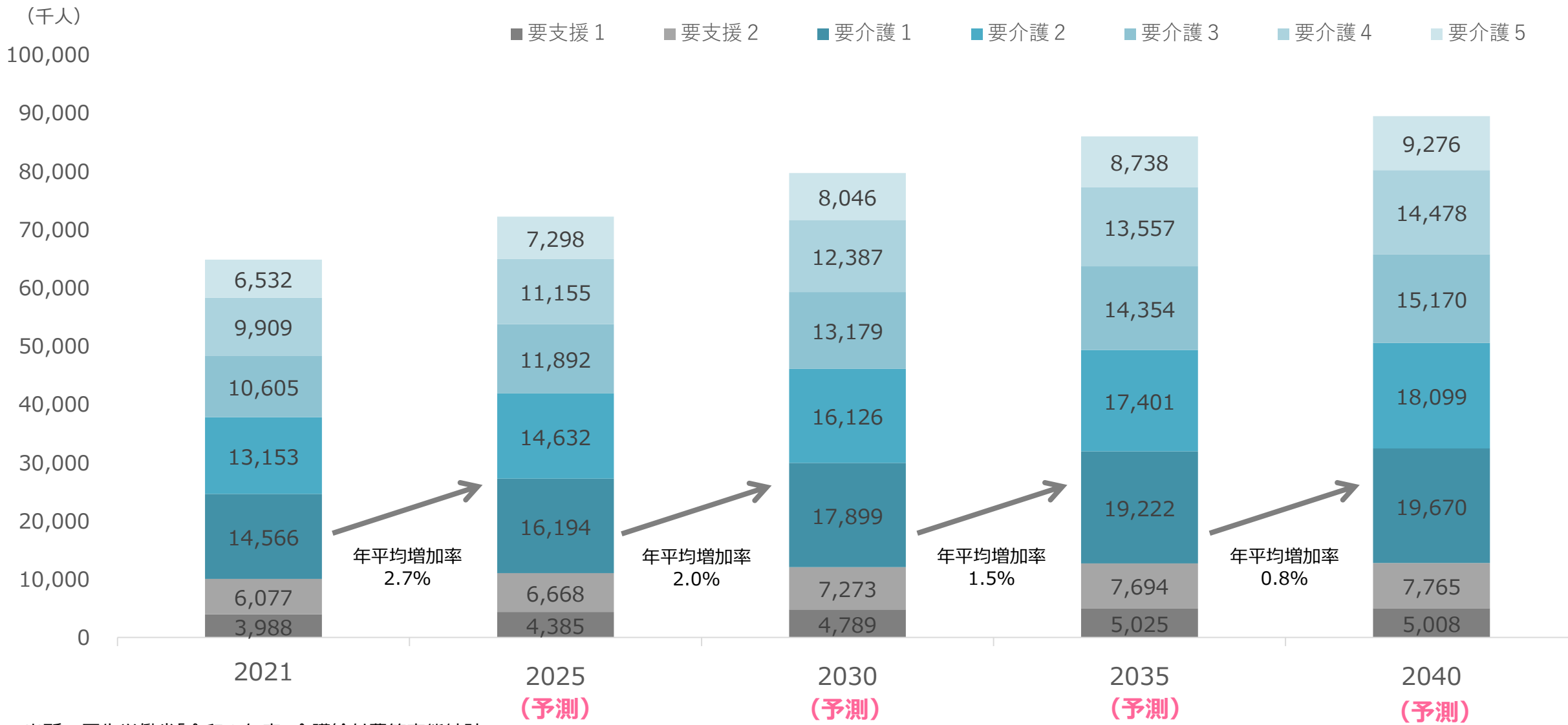


※出所：厚生労働省「令和2年（2020）患者調査の概況」
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」
 患者数の予測値は、2020年度の受療率（人口10万対・年齢階級別）、年齢別将来推計人口より算出



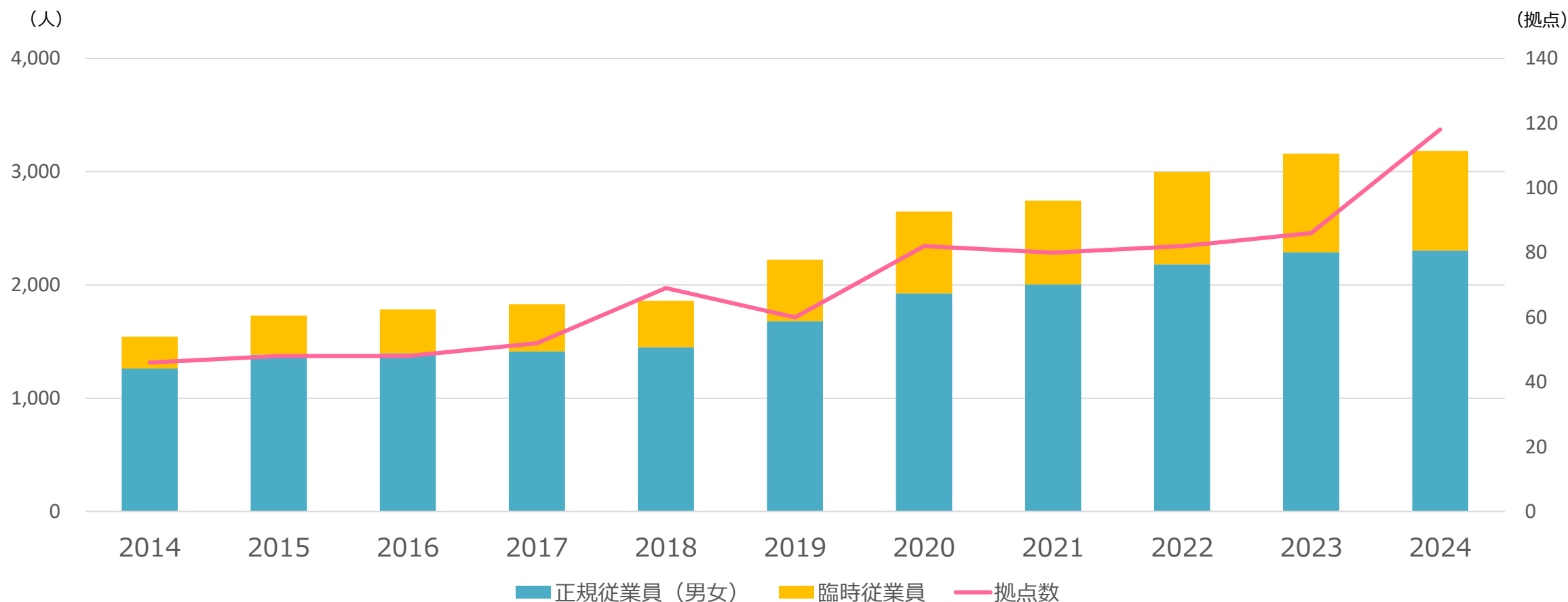
※出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」

市場環境 《要支援・要介護者数推移予測》 ※年間累計受給者数 《



※出所：厚生労働省「令和3年度 介護給付費等実態統計」
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」
 要支援・要介護者数の予測値は、2021年度の介護給付費等の受給者数（性・年齢階級・要介護（要支援）状態区分別）、2021年人口推計、
 年齢別将来推計人口（2025～2040年）より算出
 ※年間累計受給者数は、各年度とも5月から翌年4月の各審査月の介護予防サービスまたは介護サービス受給者の合計

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
拠点数	46	48	48	52	69	60	82	80	82	86	118
正規従業員数	1,262	1,385	1,397	1,413	1,449	1,680	1,926	2,003	2,182	2,288	2,303
非正規従業員数	282	345	387	417	412	542	722	741	815	871	880

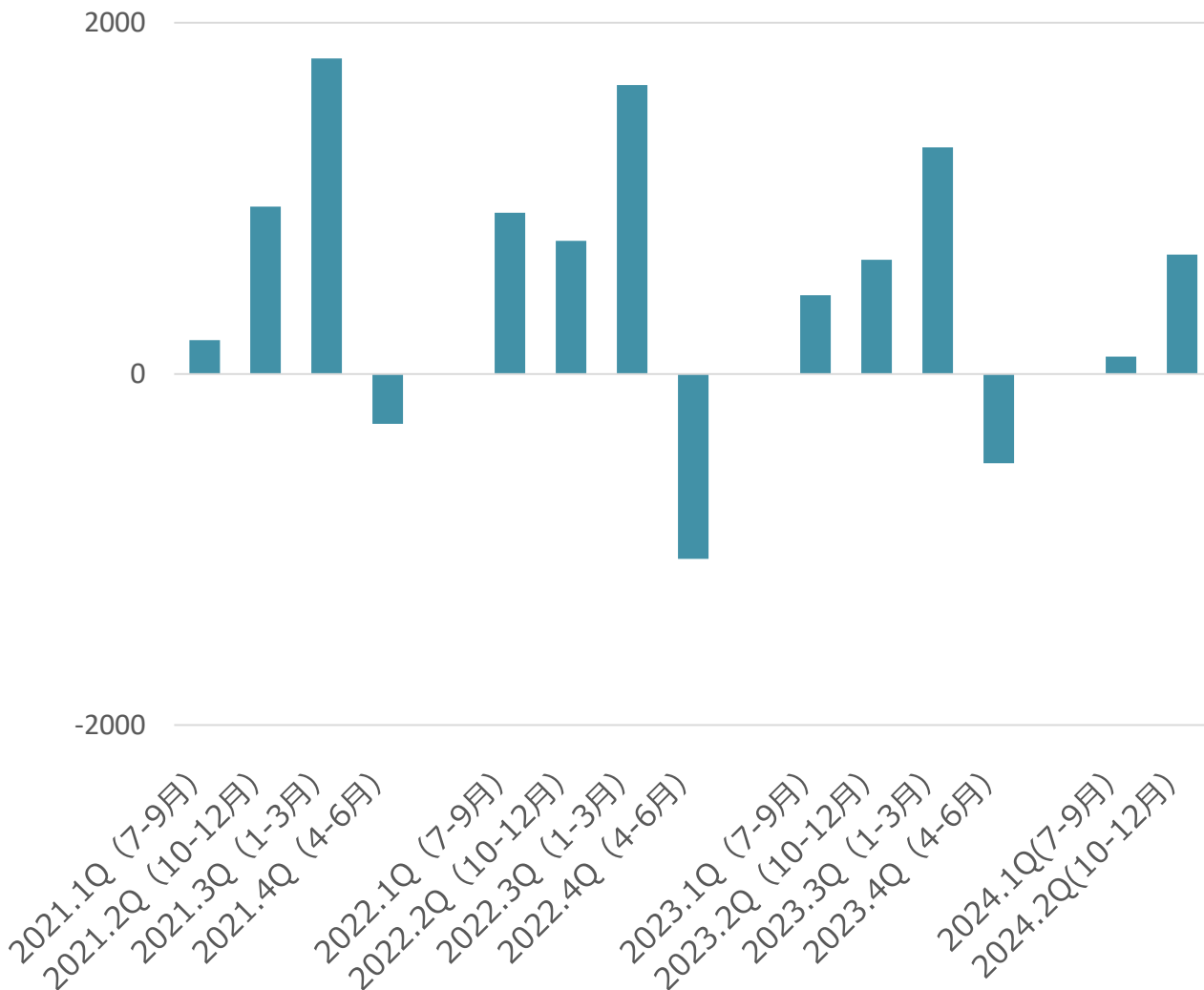


旭化成メディカル株式会社
アトムメディカル株式会社
アボットメディカルジャパン合同会社
アルケア株式会社
アルフレッサファーマ株式会社
インテュイティブサージカル合同会社
エア・ウォーター・メディカル株式会社
ASP Japan合同会社
エドワーズライフサイエンス株式会社
O&M Halyard Japan合同会社
オオサキメディカル株式会社
オカモト株式会社
オリンパスマーケティング株式会社
オリックスレンテック株式会社
カーディナルヘルス株式会社
花王プロフェッショナル・サービス株式会社
株式会社カネカメディックス
川本産業株式会社
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
京セラ株式会社
コヴィディエンジャパン株式会社
コニカミノルタジャパン株式会社

東京サラヤ株式会社
参天製薬株式会社
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
シーメンスヘルスケア株式会社
株式会社ジェイ・エム・エス
シスメックス株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
ジンマー・バイオメット合同会社
住友ベークライト株式会社
泉工医科工業株式会社
センチュリーメディカル株式会社
タカラベルモント株式会社
帝人ナカシマメディカル株式会社
テルモ株式会社
東洋紡株式会社
東レ・メディカル株式会社
株式会社トップ
ニチバンメディカル株式会社
株式会社ニデック
ニプロ株式会社
日本アルコン株式会社
日本ゴア合同会社

日本光電工業株式会社
日本ストライカー株式会社
日本メディカルネクスト株式会社
日本メドトロニック株式会社
日本ライフライン株式会社
白十字株式会社
バクスター株式会社
パラマウントベッド株式会社
株式会社 日立製作所
株式会社フィリップス・ジャパン
富士フイルムメディカル株式会社
株式会社ホギメディカル
ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社
HOYA株式会社
株式会社メディコン
メドライン・ジャパン合同会社
ユニ・チャーム株式会社
ライカマイクロシステムズ株式会社
LifeScan Japan株式会社
楽天メディカル株式会社
ラジオメーター株式会社
株式会社リブドゥコーポレーション

《四半期ごと営業利益推移》



季節性の要因

《3Q：1-3月》

- ・医療機関の年度末にあたるため備品の購入が集中し、売上高を押し上げる。

《4Q：4-6月》

- ・3Qの反動減で売上高が低下する。
- ・増員により人件費が増加する。
- ・償還価格の改定に伴う販売価格の下落。
- ・減損処理が発生する場合がある。

《4Q～1Q：4-9月》

- ・温かい時期は、比較的患者が減る傾向がある。

本資料は当社をご理解して頂くために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たり、正確性を期するために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。